

一人一人の進路実現に向けた、きめ細かい指導。
部活動や奉仕活動への参加を通じて、豊かな人間性を育成。
地域社会に信頼される学校づくり。
それが白根高校のスピリットです。

49

Vol.

第49号
Feb. 2022

白根高校通信

CONTENTS

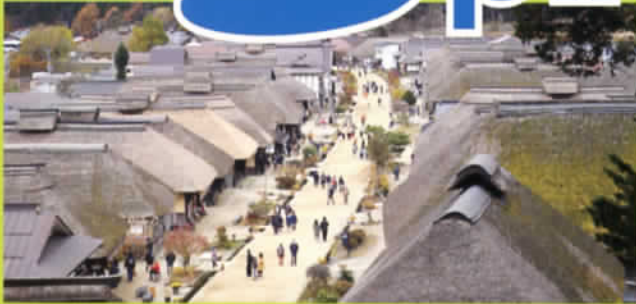
P.02 修学旅行

P.03 合格体験記／進路決定状況

P.04 金丸幸生さん（ウェイトリフティング部）

P.04 突撃インタビュー（雨宮栄己子教諭）

Shirane 挑戦 Spirit



福島 日光 修学旅行
震災復興いまだ半ば・・・福島県の今
見ざる言わざる・・・日光東照宮

コロナ禍の年の貴重な旅、

多くの方々の協力を得て

実現できたことに感謝して。





修学旅行 福島・栃木

2021.11.7.Sun.
~11.9.Tue.



三日間の思い出

2年1組 雨宮 琴葉

三日間にわたった福島と栃木への修学旅行は、多くのことを学べた有意義な時間でした。

一日目は東日本大震災・原子力災害伝承館で当時の様子や国民の証言、思い出の品などを見学し、フィールドワークでは福島を今を見てきました。十年前からそのままの建物が多く、改めて震災の恐ろしさを実感し、後世に伝えていくことが大切だと思いました。

二日目はタクシー班行動で会津若松市内を中心に様々な名所



修学旅行を振り返って

2年4組 寺田 悠人

本年度の修学旅行はコロナ禍ともあって、行先が沖縄から福島、栃木に変更となりました。ですが、東北の魅力や東日本大震災など多くのことが学べた修学旅行となりました。

1日目には東日本大震災・原子力災害伝承館を訪れました。伝承館ではフィールドワークと伝承館の館内の見学を行いました。フィールドワークでは実際に被災地を巡りました。一面が空地になっていて、そこに昔は住宅街があったとガイドの方から聞いてとても驚き、まだ復興は終わっていないのだと感じました。館内には津波や原発事故に関しての展示があり、中でも

を巡りました。鶴ヶ城からスタートし、御菜園や七日町通り、大内宿を訪れました。私達を案内してくれたタクシーの運転手さんは、コース以外の所にも連れて行ってくれました。会津若松市役所や、創業から約四百年の竹藤茶屋、猫隊長で有名な声ノ牧温泉駅を追加してくれました。思いがけないサプライズでしたが、とても楽しく充実した一日でした。会津若松市内の歴史を沢山見られて良かったです。

三日目は栃木に移動し、東武ワールドスクエアと日光東照宮を訪れました。朝からずっと大

津波によって曲がったガイドレールは津波の恐ろしさを物語っていました。

2日目は各自会津若松の自由行動で、会津若松の歴史的建築物を巡ったり、郷土料理を味わいました。中でも印象に残っているのは飯盛山です。飯盛山は白虎隊が集団自決をした山として有名です。飯盛山の山頂には白虎隊の墓があり、手を合わせ、自分と同じ歳である少年達が自決したこと悲しく、そしてむなし気持ちになりました。この時代の人は常に自決する覚悟を抱いていたのだと思いました。

3日目は栃木県で、ワールドスクエアと日光東照宮を訪れました。日光東照宮は徳川家康を祀った神社で、どの建物もきらびやかで、その姿は息を飲むほどでした。また鳴き草というものはとても興味深く、一定の場所でないとうまく音が反響しない仕組みです。実際に聞いてみると、一定の場所でないとなしかに反響せず、とても不思議に思いました。

今回の修学旅行は一生の思い出に残る、最高の修学旅行となりました。しかし、この修学旅行がコロナ禍でも、無事に行うことができたのは多くの人の努力があったからだと思えます。この修学旅行が無事に開催できたことに感謝し、学べたことが活かせるようにしていきます。



馬場 麻倫

地域を活性化させるイベントプランナーになるという明確な目標を持ち、志望校を確定したのは、三年の六月でした。

一年の頃から推薦入試を視野に入れていたため、定期試験に力を入れたり、課外活動や検定の取得をしたりと、様々な事に積極的に取り組んできました。その反面、受験科目である小論文や面接の経験はほとんど無かったため、苦労しました。受験への不安や焦りから、精神的に不安定な時期が続きましたが、先生方のご指導の下で、一日一枚小論文を書き、毎日面接

練習を行ったことで、徐々に自信をつけていくことができました。

合格することができたのは、先生方や友人、家族、先輩など多くの方の支えがあったからです。この感謝を忘れず、大学でも日々努力していきたいと思っています。

東洋大学 国際学部

国際地域学科

谷口 悠太

私は高校二年時にSDGsというものに出会いました。その中の一つ目にある「貧困を無くそう」という目標を見て私はこの目標に少しでも近づきたいという夢ができました。

私はその夢を叶える為には国際

的な分野が学べる大学に進むべきだと考えました。

私の試験内容は十分間のプレゼンテーションでした。私は今まで人前で発表をした経験がなかったのが最初はとても不安でしたが、先生方を始め周りの友達や親に支えてもらい、何度も助けられました。本当に感謝しています。ですが最後は本当に自分次第なんだなと受験を終えて一番感じました。

自分の夢、目標が私は明確です。そしてその第一歩を踏み出すことができました。ここから更に夢を実現させる為に現状に満足せず日々努力したいと思っています。



私が山梨学院大学法学部を進学先に決めた理由は、将来公務員になり、地域の問題を解決し、地域の活性化につながる仕事をしたいと思ったからです。そこで色々な大学を調べていく中で、県内で唯一、法律を専門的に学ぶ事ができ、充実した大学生活を送ることができると思い、受験することを決めました。

受験科目は、基礎能力検査とグループ面接がありました。受験対策として新聞の記事を読み自分の考えをまとめ、文章を書く練習をしました。面接では担当の先生に何度もご指導いただき、練習をし

ました。先生方のご指導や家族、友達の応援があったからこそ合格することができました。その感謝を忘れない事はもちろん、色々な場面でサポートしてくださった方々の期待を裏切らないように、夢に向かって精進していきたいです。



合格体験記

大月市立大月短期大学 経済科
川手 蓮

私が志望校を大月短期大学に決めたのは、高校三年生の夏休みの後でした。正直、進路についてはなんとなくかるとあまり考えて過ごしていた結果、進路を決めるのが遅くなりました。夏休みに入ってから進路について考え始めたら、経済に興味湧いてきました。しかし、進路についてあまり真剣に考えていなかったせいか、進学先を決めるのにとっても悩みました。常に自分が何に興味があるのか考えるべきだと思いました。

志望校を決めてからは毎日小論文と面接の指導を先生方にしていただきました。最初はうまくいか

多様な進路希望に応じたきめ細やかな指導が進路実現を支えています

本年度合格者数 四年制大学 37名 短期大学 16名 専門学校 44名 就職 8名 公務員 2名

ない部分も多く、細かく指導していただき日々改善を重ねていきました。合格に向けて指導してくださった先生方や協力してくれた友人には本当に感謝しています。この受験期間で多くのことを学びました。進学してからも感謝の気持ちを忘れず夢の実現に向けて頑張ります。

帝京山梨看護専門学校

岡本莉里衣

私は、小学生の頃から看護師になりたいという夢を持っていました。そのため、高校一年生の時から一日看護師体験に参加したり、志望校について調べるためパンフレットを見たり、ウェブ上にあげ

られていたオンライン動画を見たりしました。これらのことから、帝京山梨看護専門学校に行くことで、自分の夢に少しでも近づけると感じ、受験することを決めました。受験科目には、面接と小論文がありました。とくに小論文が思うようにいかず、本当に不安でしたが、担任の先生のご指導などにより、試験当日は自信をもって臨むことができ、合格することができました。

私は幼い頃から警察官を目指してきました。そのため、警察官採用に関する情報は進んで得ることを大切にしてきました。山梨県の警察官採用試験は第三次までありました。私が一次の一般教養の勉強を始めたのは二ヶ月程前からです。公務員講習を受けたり、苦手だった数的推理に力を入れて勉強したりしました。すべての科目を勉強するのではなく、過去の出題数を元にして勉強する科目を絞りました。作文や、面接は何度も何度も練習しました。担当の先生に文章の乱れや内容を直していただき、試験当日には納得



ウェイトリフティング部の2年生、金丸幸生さんが昨年6月に行われた第54回関東高等学校ウェイトリフティング競技大会において、89kg級でトータル224kgで優勝しました！

金丸 幸生

私は昨年行われた第五十四回関東ウェイトリフティング競技大会で優勝することができました。

初めての県外大会で広い会場、たくさんの方がいる中で試合ができるという期待と緊張が入り交じった気持ちで試合に臨みました。試合では自分のベストの記録を挙げることができず、悔しい気持ちが残りました。それでも初めて優勝することができて、表彰台で真ん中に立つことができたのはとても嬉しかったです。

優勝という結果を残せたのは、自分一人の力だけではなく、顧問の坂本先生の指導、学校の先生方や仲間からの応援、そして家族からの支えがあったからだ、身に染みて感じました。今後、多くの人への感謝を忘れず、結果で全ての人へ恩返しができるように記録を伸ばしていきたいです。



突撃インタビュー！
～白根高が誇る先生～



インタビューを受けてくれたのは「雨宮栄己子先生」

今回インタビューをお願いしたのは、進路指導係の雨宮栄己子先生です。

自己紹介をお願いします。

2年2組担任の雨宮栄己子（あめみやえみこ）です。教科は数学です。

白根高校の生徒の印象はいかがですか？

気配りのできる優しい生徒が多いと思います。毎日とても助けられています。

雨宮先生の高校時代は、どのような毎日を送られていましたか。

生意気な生徒だったと思いますが、華やかな生徒にはかなわないので、1、2年生の頃は潜んでいました。3年次、理系クラスに分かれてからは、何となく、ホットしたのを覚えています。

雨宮先生は、どのような毎日を過ごされていますか。

高校を卒業した息子といろいろな事について意見を言いあっています。途中、同音異義語で話がどんどん展開していくので、持っている知識のフル活用での応戦となります。

教師になろうと思ったきっかけ、もしくは数学の教師になろうと思ったきっかけを教えてください。

中学のときの担任の数学の先生が何だか頼りなくて、掲示物が曲がっていたり、伝え方がわかりづかったりと、モヤモヤした感じでした。私だったら・・・こうしたいと考えてみたことがきっかけだったのでしょう。

最後に生徒たちへメッセージをお願いします。

私は県外出身ですが、その時その時の選択を経て山梨にいます。いろいろな場面いろいろな選択が訪れますが、最終的には自ら決断し進んでいってください。間違ったと思ったら、選択しなおして挑戦すればよいのだと思います。そういう大人たちも、実は日々悩みながら選択し、進もうとしているのですよ。

